

地域において当院認知症疾患医療センターが果たしている役割

1. 研究の対象

当院認知症疾患医療センターを平成 28 年 8 月から平成 29 年 9 月までに受診し、厚生労働省の作成するフレイル基本チェックリストで評価された方

2. 研究目的・方法

当院認知症疾患医療センターを訪れた人の中に加齢に伴って不可逆的に老い衰えた状態の方が多くみられました。このような状態をフレイルといい、要介護状態に陥る患者さまが多いといわれます。そこで、フレイルになる前の前段階（プレフレイル）の高齢者を、フレイルに陥らないようにすることが大切です。ことに要介護状態になる疾患に脳卒中が挙げられますが、フレイル、プレフレイル患者における脳卒中は発症や予後はわかっておらず、地域の寝たきり防止に役立てたいと考えます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診察前に聞き取りとして行う専門医療相談用紙に基礎情報を記入していただいた以下の内容を解析します。

- ①年齢・性別、②主介護者、③家族構成、④初診日、⑤診断日、⑥診断名
- ⑦住所(市まで)、⑧かかりつけ医の有無、⑨内服の有無、⑩情報提供書の有無
- ⑪介護制度利用有無(判定級)、⑫就労状況、⑬運転状況、⑭既往歴、⑮生活習慣
- ⑯フレイルのスコア

・使用する神経心理学的検査

① MMSE

これらは認知症の診断をする診療の範囲で補助的で行われた神経心理学的検査や診察前の専門医療相談から得られ情報を使用し、通常の診療を上回るものではなく、とくに新しい薬を使う、新しい治療法を行うなど介入はありません。従い、不利益はありませんが、個人情報流出は不利益となるため、以下の方針で臨みます。すなわち、本研究は研究対象者データをまとめて解析するものであり、各対象者個人を特定できるような検討は行いません。データを収集する時点で、研究用の登録番号による管理とし、データの照合が出来ないように管理します。しかし、問題発生時には適切な対応を行います。登録データの研究目的の使用にあたっては研究責任者によりデータ管理を徹底し、学会・論文などの研究成果発表以外の外部へデータの流出が起きないように注意いたします。また個人情報の流出により個人のプライバシーを侵害した場合にはすぐに倫理

委員会に報告いたします。各対象者データの登録は匿名化して行い、登録データはセキュリティーが十分に確保されたサーバー上で管理します。さらに認知症疾患医療センター専用パソコンでパスワードによって他者が閲覧できないようにし、登録データの流出に伴うリスクを最小化いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 認知症疾患医療センター
研究責任者 神澤 孝夫
住 所：群馬県伊勢崎市大手町366番地
T E L：0270-24-3355 F A X：0270-24-3359